

白鳥工区について

新しい白鳥トンネルの供用により、
車道の幅が広がり、歩道が整備されることで、
車両と歩行者の通行の安全性が向上します
渋滞の緩和と通行の安全性のさらなる向上に向けて、
4車線化の整備を引き続き進めていきます

参考 全体事業概要（4車線化事業）

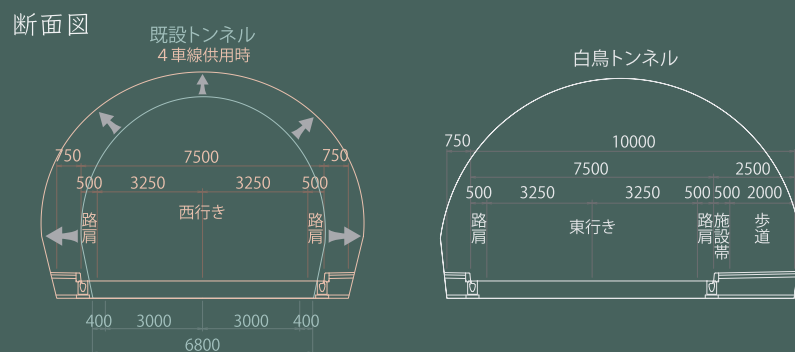
主要地方道小倉西舞鶴線は、舞鶴市小倉の国道27号を起点とし、舞鶴市引上で国道27号に接続する約1.1kmの道路で、国道27号とともに東西市街地を結ぶ重要な路線で、舞鶴若狭自動車道へのアクセス道路としての役割も担っています。

事業区間の白鳥トンネルは昭和25年に築造され75年が経過し老朽化が進行しているほか、その前後約1.4kmには歩道がなく、幅員狭小で路肩が狭いことから、安全な通行に支障を来しており、併せて、トンネル付近の現道には、周辺の市道からの合流による交通集中のため慢性的に渋滞が発生しています。

本事業により、老朽化が進行している白鳥トンネルを含め、約1.4kmを4車線道路に整備し、渋滞の緩和と通行の安全性向上を図ります。

1. 事業概要

路線名：主要地方道小倉西舞鶴線
区間：舞鶴市字森～字上安
事業着手：平成26年
延長：1.4km
幅員：土工部13.0m(17.5m)
新設トンネル部6.5m(10.0m)
既設トンネル部6.5m(7.5m)



2. 整備の効果

安全で円滑な交通の確保

- ・歩道のない狭く老朽化したトンネルが新しいトンネルとなり道路の安全性が向上されます
- ・非常に多い交通量（2万台/日）による慢性的な渋滞が緩和されます

防災機能の向上

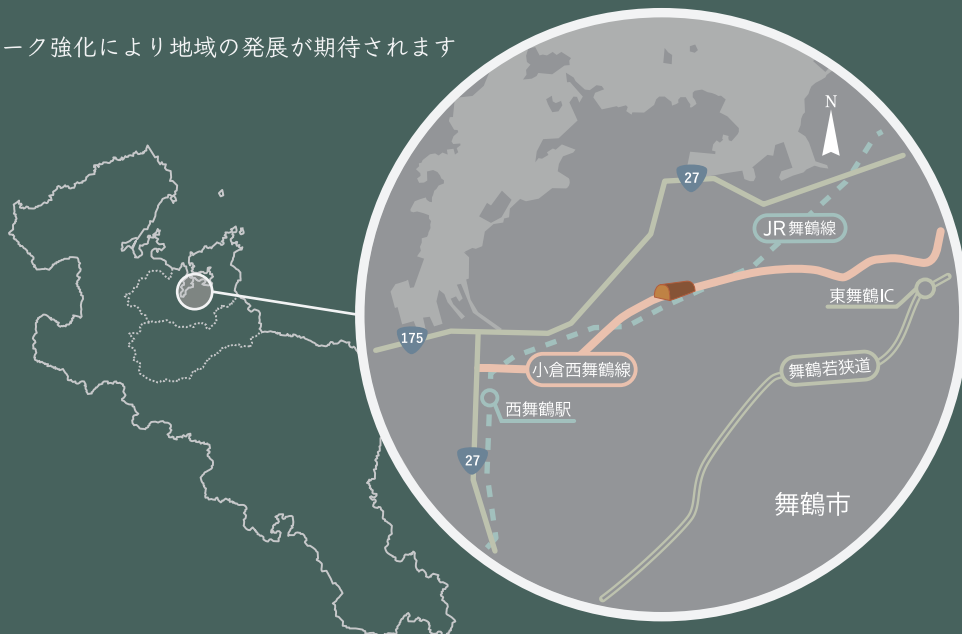
- ・4車線化により、第2次緊急輸送道路、国道27号の代替機能が向上します

地域振興を支援

- ・舞鶴市の東西市街地のネットワーク強化により地域の発展が期待されます



京都府中丹東土木事務所
京都府綾部市川糸町丁島10-2
TEL：0773-42-8772



白鳥トンネル

令和7年5月24日開通

京都府では、府民の皆様に、安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱いていただけるよう、「京都府総合計画」に基づき、

「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの視点に基づく
「あたたかい京都づくり」を進めています。

小倉西舞鶴線は、舞鶴市の東西市街地を結ぶ重要な路線ですが、現在の白鳥トンネルは、老朽化が進行しているほか、トンネル内の幅員が狭小であるため大型車の離合が困難なことに加え、歩道がないことから、歩行者の安全な通行の支障にもなっていました。

新しい白鳥トンネルは、車両と歩行者の安全性を確保するものであり、安心・安全な暮らしを支える基盤となると考えています。

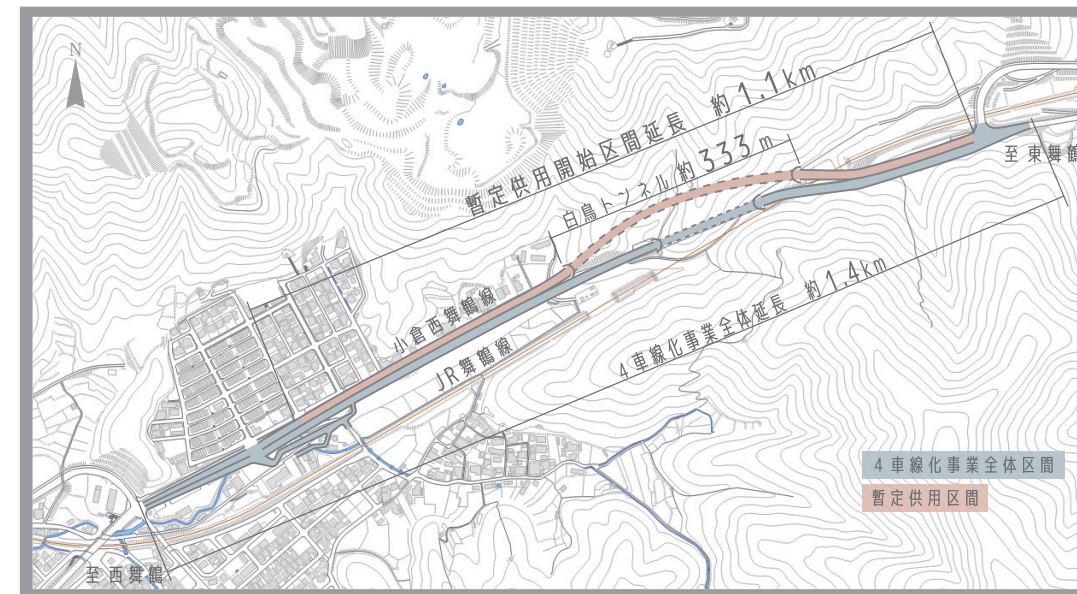


京都府知事 西 脇 隆 俊

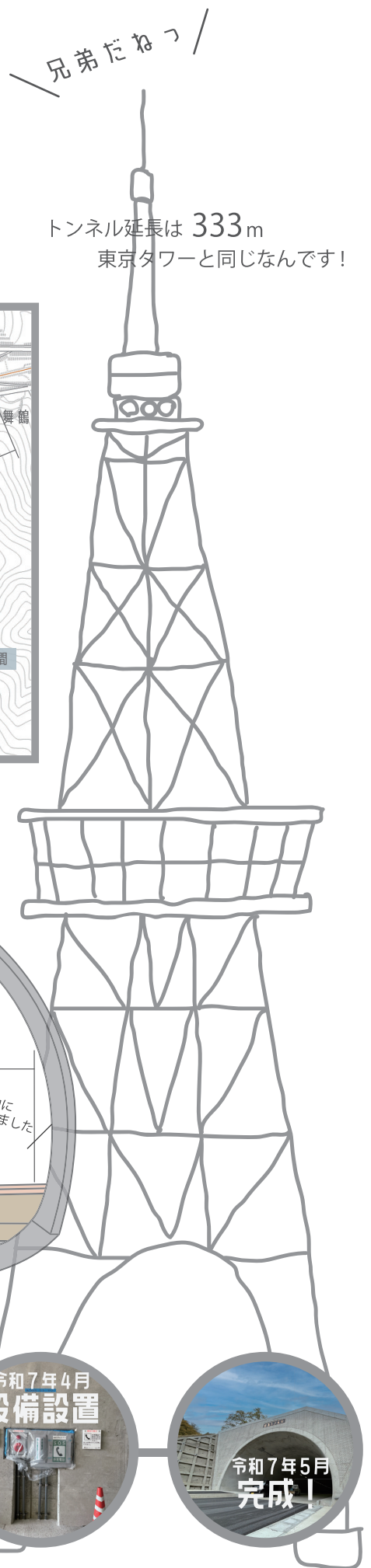
また、舞鶴市では、利便性が高く効率的で暮らしやすいまちを目指し、東西の駅周辺を拠点とし、拠点間をつなぐ公共交通を充実させるなど、さまざまな取り組みが進んでいます。

新しい白鳥トンネルの開通により、東西の拠点間の連携が強化され、それぞれの施設へのアクセス・利便性が向上することにより、舞鶴市が目指すまちづくりに寄与するものと期待しております。

白鳥工区 全体平面図



トンネル延長は 333m
東京タワーと同じなんです！



白鳥トンネル工事 3つの課題

その 1

3本のトンネルが近接しています！
新トンネルは、
現在トンネルとJRトンネルに近接しているため、
工事の影響がないように、
火薬を使わず機械で掘り進める工法を選定しました。
近接するトンネルの変位計測を行い、
悪影響がないことを確認しながら、
安全に掘削を進めました。

その 2

低い山にトンネルを掘りました！
新トンネルは谷地形の区間を通るため、
トンネルが露出してしまう場所がありました。
トンネルが安定するように、山が低い部分には
セメント改良した土を盛ってから、
トンネルを掘りました。

その 3

硬い地層がありました！
機械により山を掘り進めていましたが、
掘削が難しい非常に硬い岩盤層がありました。
安全に掘ることができるような様々な方法を試し、
知識や技術を集結させ、
無事に掘りきることができました。

トンネル断面図

